

青少年交換プログラム

2023-24年度募集 2024-25年度派遣学生募集要項

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせあい、我が子のように育ててみようという試みに端を発しています。子どもたちは異国という厳しい環境の中、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、異文化にふれあい、生活することで互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長していきます。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972年に国際ロータリーの定める正式プログラムとなりました。近年、世界中で年間7,000人の16歳から18歳の高校生が参加しています。

こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみ、ロータリアンの子弟参加が認められています。また、ロータリアンの子弟のみならず、関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。

次年度(2024-25年度)の青少年交換学生を下記の要領で募集いたします。各クラブにおかれましては、このプログラムの次世代を担う青少年の育成という趣旨と目的をご理解いただきまして、是非ともご参加していただきますようお願いいたします。

1. 過去の交換実施国

アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、ブラジル、オーストラリア、スイス、スウェーデン、台湾、ポーランドなど

2. 交換期間

- ・2024年8月に出発し、期間は約1年間。
- ・採用及び派遣先は地区青少年交換委員会において決定します。

3. 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。

現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努めます。

4. 費用

プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- ①出発時、16～18歳の高校生であること。
- ②健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。
学業成績は、学年で上位1/3以内の者。(在学高校により差があるので、相談に応じます。)
- ③異文化、異なる環境で1年間過ごすことができる積極性と適応力を備えていること。
- ④学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。
(派遣中における現在の学校での単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい。
また、**派遣相手国での学校の単位は基本的には取得できません。**)
- ⑤ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

6. 応募期限

2023年8月1日(火)～2023年9月30日(土) (期限を厳守願います。)

7. 応募方法

応募者は、必ず**スポンサークラブを通じて**地区青少年交換委員会またはガバナー事務所にお申込み下さい。
なお、申込書はガバナー事務所までご請求下さい。

8. 来日学生の受入

原則として、**派遣学生を送り出したロータリークラブは、交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。**

スポンサークラブには地区より年間幾らかの支援金を供給します。(派遣人数・地区予算により変動します。) 及び派遣先は地区青少年交換委員会において決定します。

2018-19年度 40万円 2019-20年度 60万円 2023-24年度 40万円 (予定)

9. 短期交換プログラム

1年間の長期交換のほかに、夏休みなどに数週間ずつ交換する短期交換プログラムもあります。

10. スポンサークラブへのお願い

「青少年交換要覧」<http://rijyec.org/document/yectebiki.pdf> を参照下さい。
また、地区委員会で開催するオリエンテーションに必ずご出席下さい。

《お問い合わせ・応募先》

国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所

〒541-0052 大阪府中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F

Tel : 06-6264-2660 Fax : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



派遣学生の学校での様子



来日学生 日本文化体験



派遣候補生

ロータリー青少年交換プログラム 2024-2025年度

募集要項

応募締切
2023年9月30日(土)

面接・選考
2023年10月14日(土)

第1回オリエンテーション
2023年11月18日(土)
全8回開催予定

派遣候補生とは？

ロータリーから派遣される国でホームステイし、現地の高等学校に通いながら、言葉や文化・歴史を学び、生活様式や習慣を体験します。現地の人々と交流し、日本の文化や伝統を伝え、親善大使として国際理解と交流の架け橋となる人材です。

主な交換相手国（近年の実績）

アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、スウェーデン、台湾、ポーランド、ドイツ等

【募集人数】5名程度

【費用】プログラム参加費（¥100,000）、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人（保護者）の負担になります。現地での生活費、現地高校の学費および少額のお小遣いは派遣先ロータリークラブが負担します。

【応募方法】推薦ロータリークラブを通じて、地区青少年交換委員会またはガバナー事務所にお申込みください。

【交換期間】2024年8月出発 約1年間

【応募期限】2023年9月30日(土) 期限厳守

【選考方法】提出書類による書類選考の後、面接にて決定します。

【派遣先等】派遣先は青少年交換委員会で決定します。ご希望の国・地域に沿えない可能性もありますが、合否通知後に派遣先を不服としての辞退は原則として承っておりませんので、ご理解とご了承をお願いします。

**応募資格
申込方法は
裏面へ**

青少年交換プログラムとは？

【青少年交換プログラム】は、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせ、我が子のように育ててみようという試みに端を発しています。子供たちは異国という厳しい環境の中で、好意に溢れたロータリアンの庇護のもと、異文化にふれあい生活することで、互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長してきました。その後このプログラムは、「次世代の青少年の育成」という有意義な奉仕活動として認められ、1972年にRIの定める正式プログラムとなりました。近年、世界中で年間約9,000人の16歳から18歳の学生が参加しています。こうした成り立ちからこのプログラムのみ、ロータリアンの家族の参加が認められています。



国際ロータリー第2660地区 青少年交換委員会
【問い合わせ】

国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所
〒541-0052

大阪府中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6F

TEL 06-6264-2660

FAX 06-6264-2661

MAIL gov@ri2660.gr.jp



メール用QRコード



青少年交换来日学生 1泊オリエンテーションを終えて

青少年交換委員会 委員長

久松秀雄 (大阪御堂筋本町RC)

日 時：令和5年9月23日(土)～24日(日)

場 所：箕面観光ホテル

参加者：大橋ガバナーエレクト・地区青少年奉仕統括委員長、青少年交換委員会 13名、ROTEX 5名、ホストクラブ関係者 2名、来日学生 4名(一部日程のみ参加者を含む)

青少年交換委員会では日本と世界各国の高校生の交換留学プログラムを運営しています。約1年間に渡ってロータリー親善大使として、お互いの派遣先でホームステイしながら地元の高校に通い、学業と共に国際交流やボランティア活動を通じて様々な異文化体験をする、大変有意義なプログラムです。当地区では、今年度5名の学生を派遣し、4名の来日生を受け入れました。

今回の1泊オリエンテーションは、8月下旬の来日から約1ヵ月を経て、日本での生活にも少し慣れてきたタイミングで開催しました。

1日目は、来日生による自己紹介プレゼンと簡単な日本語テスト、日本で生活する上での注意点の解説などを行いました。自己紹介では、来日生が各自練習してきた日本語を用いて出身国やご自身・家族のこと、日本での経験などをプレゼンし、他の参加者からの活発な質疑応答で盛り上がりました。夕方からは大浴場への入浴を体験し、浴衣を着てビュッフェスタイルでの懇親会を行いました。

2日目は、カップヌードルミュージアムを訪問し、オリジナルのカップヌードル作りを体験しました。参加者同士でワイワイと交流しながら楽しい時間を過ごしました。その後近くに近くのレストランで昼食懇親会を行い、無事オリエンテーションを終えました。

今回のオリエンテーションでは、来日生の先輩に当たるROTEXのメンバーが来日生と積極的に交流する姿が目立ち、ロータリアンとして交換留学プログラムを毎年継続していく意義を再確認できました。

来日してまだ1ヵ月ほどですが、来日生は今後の日本語習得や日本での様々な体験に強い興味を抱いています。1年間の日本での生活が来日生にとって素晴らしいものになるよう委員会一同、ROTEXと共にサポートして参ります。

<今年度の来日学生>

ホストクラブ	来日生	出身国	受入高校
茨木西	Agathe Dugrain	フランス	夕陽丘高校
大阪西南	Jessica LAUKKANEN	フィンランド	千里高校
大阪西	Lucas HONKANEN	フィンランド	夕陽丘高校
大阪帝塚山	Clara Miller	米国	浪速高校





ロータリー財団 2023-24年度 奨学生提唱 (推薦) のお願い

ロータリー財団委員会 奨学金小委員会
ロータリー平和フェロースhip 委員長

塚本 英 (大阪北梅田RC)

2023-24年度ロータリー財団の補助金による奨学生候補者を募集致します。

申請要件を満たす奨学生候補者がおられましたら、クラブ推薦をお願い申し上げます。

また、地区に直接応募し候補者になる方もおられます。グローバル補助金を活用した事業をご検討中のクラブは是非奨学生提唱 (推薦) クラブとして手を上げて頂きたくよろしくお願い申し上げます。

提唱クラブは奨学金プログラム終了後も奨学生とは長期に渡り交流頂き、将来的にはロータリアンとしてクラブに迎え入れることも推奨されております。

詳細は2660地区ウェブサイトにてご確認ください。また、財団奨学生に関してご質問等ありましたら、ガバナー事務所内地区財団委員会奨学金小委員会までお問合せ願います。

※情勢の変化により、募集内容が変わることがあります。

【概要】

募集奨学生候補	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル奨学生 ⇒ 7重点分野に貢献するキャリアを目指す大学院生や職業人 ● ロータリー平和フェロー ⇒ 草の根や国際レベルで、平和活動に貢献する人材
派遣年度	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル奨学生 ⇒ 2024年度 ● ロータリー平和フェロー ⇒ 2025年度以降
地区の応募締切	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル奨学生 ⇒ 2023年9~10月 ● ロータリー平和フェロー ⇒ 2024年5月中旬

グローバル補助金奨学生

奨学金の用途

渡航費用、授業料、住居費、生活費、保険など

募集人員

若干名

奨学金

3万ドル以上

留学時期

2024年度8月以降

派遣期間

1-2年

申請受付

2023年9月1日~10月31日

資格

1. 国際ロータリーの7重点分野のいずれかに該当する分野でキャリアを築く事を目標とし、大学院レベルの教育目標もこれに関連すること
2. 学歴、職歴、活動歴が7重点分野に関わっていること
3. 留学先がロータリーのある国であること
4. グローバル補助金申請時に入学許可状、招請状、学費支援の保証を必要とする条件付き入学許可状を提出できること (2024年2月頃)
5. 受入国の言語に堪能であること



6. 第2660地区内に在住、あるいは在学・在職、または本籍を有すること
7. 日本国籍、あるいは永住権を有すること

- ※ 最終面接日に必ず参加できること。(11月12日)
- ※ グローバル奨学生に選ばれた場合、他の奨学金との並行申請はできない。
- ※ 卒業後も第2660地区の活動に参加要請があれば、出来る限り応えること。

7 重点分野

- ① 平和と紛争予防 / 紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展
- ⑦ 環境

ロータリー平和フェロー (平和と紛争解決)

奨学金の用途

渡航費用、派遣期間中の授業料、住居費、生活費、保険など

留学先 (以下のロータリー平和センター)

- | | |
|------------|---|
| 修士課程プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ● デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国) ● 国際基督教大学 (日本) ● ブラッドフォード大学 (英国) ● クイーンズランド大学 (オーストラリア) ● ウプサラ大学 (スウェーデン) |
| 専門修了証プログラム | ● マケレレ大学 (ウガンダ) 専門修了プログラム |

募集人員

若干名

派遣期間

修士課程：15～24ヶ月 (提携大学による) 専門修了証コース：3ヶ月

申請受付

2024年5月15日まで

資格

1. 学士号またはそれに相当する学位 (修士号取得プログラム)、あるいは職務経験 (専門能力開発修了証プログラム)
2. 有給・無給を問わず、関連分野において少なくとも合計3年間のフルタイムの職歴 (修士号取得プログラム)
3. 平和と紛争解決分野における中級職または上級職において、少なくとも合計5年間のフルタイムの職歴 (専門能力開発修了証プログラム)
4. 英語に堪能であること。さらに、第二外国語に堪能であること (修士号取得プログラムのみ)。国際基督教大学 (日本) への留学を申請する場合、日本語の語学力は必須要件ではありません。
5. 優れたリーダーシップ能力
6. 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への専心を実証

2024-25年度 (派遣)

ロータリー平和フェローシップ募集要綱

奨学金小委員会/
平和フェローシップ小委員会 委員長

塚本 英

(大阪北梅田RC)

草の根や国際レベルで、平和活動に貢献する人材を育てるロータリー平和フェローシップ。2024-25年度 ロータリー平和フェローシップの募集が2月1日より始まります。専門教育を受け、実践的な知識やスキルを身につけたフェローたちは、卒業後に多方面で活躍し、スーダンの難民支援、インドの女性のための雇用機会創出、紛争や災害後の復興支援といったさまざまな活動に携わっています。

毎年、最高130名までのフェローが選ばれ、世界各地の提携大学に設置されたロータリー平和センターの修士号取得または専門能力開発修了証プログラムで学びます。フェローは、紛争を引き起こす根本的な問題を多角的に研究し、現代社会のニーズに応える革新的な解決策を探ります。

奨学金名	ロータリー平和フェロー
ロータリー平和センター	修士号取得プログラム デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国)、クイーンズランド大学 (オーストラリア)、国際基督教大学 (日本)、ブラッドフォード大学 (英国)、ウプサラ大学 (スウェーデン) 専門能力開発修了証プログラム チュラロンコーン大学 (タイ)、マケレレ大学 (ウガンダ)
募集人員	若干名
派遣期間	修士号取得プログラム：15～24 ヶ月 (提携大学による) 専門能力開発修了証プログラム：1年間 (オンライン学習、大学での授業、オンライン変革イニシアチブ、修了前セミナー)
選考基準と資格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語に堪能であること 2. 学士号を保有していること 3. 職業、学業、奉仕を通じて、異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること 4. 優れたリーダーシップスキルを実証していること 5. 平和あるいは開発の分野において、少なくとも3年の職務経験を有すること。(修士号取得プログラム) 関連分野における5年以上の職歴を有していることが望ましい(専門能力開発修了証プログラム) 6. 平和推進のための自分の計画がどのようにロータリーの使命と合致するかについて説明できること(専門能力開発修了証プログラム) 7. マケレレ大学の平和センターの候補者は、アフリカ出身、アフリカでの仕事経験がある、アフリカ大陸外でのアフリカ人コミュニティまたはアフリカ関連のイニシアチブに取り組んだ経験があるものでなければならない。 <p>【注 意】ロータリー平和フェローシップを博士号取得のために充てることはできません。 【無資格者】●ロータリー会員、クラブ・地区および国際ロータリーの職員、これら該当者の配偶者・直系卑属(子供や孫)、直系卑属の配偶者、尊属(両親または祖父母)。(ロータリー会員とその親族は、会員がクラブを退会してから36ヶ月経過するまでは資格を有しません) ●現在、学士課程または大学院に在学中の方。</p>
申請方法	面接の前にオンラインで申請を行う必要があります。必要書類(能力試験のスコア、教授や上司からの推薦書、小論文など)を添付して、2023年5月15日までに国際ロータリー第2660地区 財団奨学金小委員会 (gov@ri2660.gr.jp 件名：平和フェローシップ)へ提出してください。結果は11月に通知されます。